

「Trouble Maker」J

◆トラブル学園探偵団（5〜6名程度）
学園の平和を守る私立探偵団。
だけど、どっちかというところ、楽しいことができればそれでよし。

◆学園警備隊（7〜8名程度）
学校の平和を守る警備隊の隊長。マジメかつ冷静。

◆悪の秘密結社（5名 増やしても良い）
学園の裏社会を仕切る悪の秘密結社。
だが、どんな悪事をしているのか、だれも知らない。
何もしていないかもしれない。

◆怪盗3面相（3〜5名程度）
謎の大泥棒。学園に隠された伝説の秘室の話聞き、それを狙っている。

◆おじよーさま3姉妹（3名 増やしても良い）
パーフェクトでちよー大金もちの学園の理事量の孫娘。

◆めしつかい（1名）
おじよーさまのめしつかい。

*役名で「探偵団」「警備隊」「秘密結社」「おじよーさま」と書いてあるところは、各チームのだれがしゃべっても良いセリフです。

「団長」「秘密結社A」「怪盗Z」などは、それぞれ一人の子供がしゃべります。

どこかのとある大金持ちが作った巨大学園都市・トラブル学園。
そのよく分からないけどスゴそうな美術品がならぶ美術館。
そこに、悪の秘密結社のメンバーがいる。

秘密結社

ここは、とあるところの、とある大金もちが作ったちよー巨大学園都市・
トラブル学園。

秘密結社 A

そしてオレたちは、そのちよーすげーところの裏社会をしきる悪の秘密結

秘密結社 B

社のボス、コードネーム・A。

秘密結社 C

B！

秘密結社 D

C！

秘密結社 E

D！

秘密結社たち

E！
俺たち、秘密結社〇〇（好きな名前）！

秘密結社

そしてオレたちが次にねらうのは！

秘密結社

このちよーすげー学園都市のちよーすげー美術館に眠るお宝、その名も：

秘密結社たち

「かんがえない人」の像！

秘密結社

決行は？

秘密結社

明日の夜、午前0時。

秘密結社 A

よーし、お前たち、準備にかかれ！

秘密結社たち

はっ！

舞台は変わって、そこは「かんがえない人」の像の前。

警備をしている学園警備隊と学園探偵団がいる。

探偵団

今の時刻は？

警備隊

11時50分です。

探偵団

警備は？

警備隊

ばっちりです。あやしいものの姿はありません。

警備隊

やつら、本当にきますかね。

警備隊

来る。あいつらが犯行を予告して、来なかったことは一度としてない。

探偵団

でも心配ないわ。

団長

そう、この学園で起こるすべての事件は、私たちが解決する。それが学園

秘密機関、

探偵団たち

トラブル学園探偵団！

警備隊

しかし、今回は探偵団も出番がないかもしれません。

探偵団

なんで？

警備隊

われわれトラブル学園警備隊、今回は警備隊の数を3倍に増やしてみました。

警備隊たち、たくさん入ってくる。

探偵団たち

おおっ！

警備隊

これでアリンコ一匹入れません！

探偵団

…ま、どうせ失敗するけどね。

警備隊

なんだと！？

おじよーさま、やって来る。

おじよーさま

みなさん、ごくろうさま。

みんな

あ、〇〇おじよーさまだ！

おじよーさま

こんなに遅くまでがんばってくださいって、本当に私たち…

おじよーさまたち うれしい☆

みんな

ああっ！

おじよーさまが微笑むと、みんなステキすぎて倒れる。

探偵団

さすがちよー大金もちの、トラブル学園の理事長の孫娘。

探偵団

服も髪型も笑い方もパーフェクトね。

警備隊

どうか心配しないでください。このトラブル学園警備隊。

警備隊

おじよーさまのお宝は、必ず守ります！

その時、0時の鐘がなる。

みんな

12時だ！

突然、ガチャンと窓ガラスの割れる音がして、秘密結社たちが飛び込んでくる。

秘密結社たち

ハッハッハッハッ！

みんな

お前たちは！

秘密結社たち

悪の秘密結社、〇〇（秘密結社の名前）！

警備隊

どうやって、ここまで来たの！？

警備隊

3倍の警備隊が守ってたのに！

秘密結社

簡単なことだ。

秘密結社たち

がんばったのさ！

みんな

えーっ！

秘密結社

お宝はもらっていくぞ！

探偵団たち

待ちなさい！

秘密結社たちを取り囲む、探偵団と警備隊のみんな。

探偵団　ここから逃げられると思ってるの？

警備隊　覚悟しなさい！

秘密結社　捕まえられるもんなら、

秘密結社たち　捕まえてみる！

いよいよ両者が激突…！　という時、美術館の明かりが消え、真っ暗になる。

みんな　…あれ？

警備隊　真っ暗になっちゃった。

警備隊　どういうこと？

怪盗たち　フッフッフッフ…。

怪盗　オレたちは、3つの顔を持つ大泥棒。

怪盗たち　怪盗3面相！

怪盗　おじよーさまは、私たちがさらっていくわ。

探偵団　なんですって！

怪盗たち、おじよーさま3姉妹を捕まえる。

おじよーさまたち　きゃーっ！たいへんーっ！さらわれるーっ！

みんな　おじよーさま！

怪盗　私たちの狙いは、このトラブル学園に伝わる伝説の秘宝。

探偵団　伝説の…。

探偵団　秘宝…？！

怪盗　おじよーさまを返して欲しければ、追いかけてくるんだな。

怪盗3面相、窓ガラスを破って外に飛び出していく。

みんな　あーっ！

警備隊　やつら、窓ガラスを破ったわ！

警備隊　そのままガケを落ちていくわ！

探偵団　と思ったら、背中からパラシュートが！

探偵団　月明かりの中を、空を飛んで逃げていくわ！

怪盗たち　アーツハツハツハツハツ！

おじよーさまたち　だーれーかーたーすーけーてーっ！

みんな　す、すごい…！！

団長　そこまで！

美術館の電気がつく。

団長 みんな、セツメーゼリフはもういいわ。
はーい。

団長 それより、一刻も早くおじよーさまを助け出すのよ。
でも、どうやって？

警備隊 やつらの正体も、アジトもわからないのに。
心配ないわ。やつらの狙いは、伝説の秘宝。お宝のあるところに、やつらは来る。

探偵団 そうか。じゃあお宝を先に見つければ…！

探偵団 あたしたちの大勝利！

みんなが盛り上がる中、秘密結社たちが割って入ってくる。

秘密結社たち ちょーっと待った！

秘密結社 話はわかった。俺たちも協力しよう。

みんな え！？

秘密結社 あんなパーフェクトなおじよーさまをさらうなんて汚いマネ、俺たちは許せねえ。

秘密結社 そのお宝探し…じゃなくて、おじよーさま救出作戦、どうか協力させてくれ！

探偵団と警備隊のみんなは、顔を見合わせる。

警備隊 どうする？

警備隊 あいつら、裏切る気満々だけど。

探偵団 いいんじゃない？

警備隊 人は多いほうがいいし…。

探偵団 じゃ、そういうことで…。

団長 おじよーさま救出作戦、開始！

みんな おーっ！

みんな、かけだしていく。

場所は変わって、海岸。

怪盗3面相のアジトである。

おじよーさま さあみんな、いらっしやい。

怪盗たち はーい…。

怪盗3面相たち、疲れ切った様子で、おじよーさまについて出てくる。

おじよーさまは、怪盗の持ってきたイスに座って、

おじよーさま 何をしているの？ 私がイスについたら、すぐに飲み物でしょう？

怪盗たち

……。

おじよーさま それと、〇〇を用意してちょうだい。

おじよーさま それからお菓子は〇〇がいいわ。

おじよーさま それと晩御飯には〇〇を用意してちょうだいね。わかった？（〇〇にはそれぞれ好きなもの）

怪盗たち

はい。

おじよーさま よろしい。

怪盗 ……って、んなわけあるかーっ！

怪盗 さらにこれといてエラそうなこと言ってんじゃねーぞ！

怪盗 オレたちや、オメーの召使いじゃねーっつーの！

怪盗 おい、聞いてんのかよ！

おじよーさま もちろん…

おじよーさまたち 聞いてますわ♪

おじよーさまの笑顔に、ごまかされる3人。

怪盗たち

おおせのままに。

おじよーさまたち ありがと♪

怪盗 ……しまった、まただまされた。

おじよーさま 〇〇（めしつかいのなまえ）。

めしつかい はい、おじよーさま。

めしつかい、出てくる。

怪盗たち

ええっ!?

怪盗 ……あんた、だれ？

めしつかい ご挨拶が遅れました。おじよーさまの召使い、〇〇です。

怪盗 どうやってここに…。

怪盗 このアジトは、だれにも知られてないはずなのに。

めしつかい ハッハッハッ。これは「冗談を。この学園のことで、おじよーさまが知らないことなどあろうはずがございませぬ。

怪盗たち まじ？

怪盗 じゃあ、なんでオレたちに捕まってるの？

おじよーさま 決まってるじゃない。

おじよーさまたち おもしろいからよ。

怪盗たち

えーっ！

おじよーさまは笑いながら、

おじよーさま あなたたち、お宝が欲しいんでしょ？

おじよーさま 私たちを楽しませてくれたら、分けてあげてもいいわよ。

怪盗 おえ、ほんと!？

おじよーさま 本当よ。今までだって、たくさんの人にお宝をあげてきたもの。

おじよーさま その数、なんと999人。

怪盗たち 999人!

おじよーさま そしてお宝をもらった人は、みんな私たちと同じ、パーフェクトな人になれるのよ。

怪盗たち、急に盛り上がって、

怪盗たち すげー!

怪盗 来た!来たわよ!ついにあたしたちの時代が!

怪盗 さ、おじよーさま。晩御飯の準備をいたしますので、アジトに戻りましょう。

おじよーさまたち はい!

怪盗たち おったから!おったから!

怪盗たちとおじよーさまたちは去っていくが、怪盗Z、一人だけ残る。

怪盗Z ねえ、そのお宝って、いったいなに?

めしつかい ……。

怪盗Z 人をパーフェクトな人に変えるって、どういうこと?それってホントに、

宝ものなの?

めしつかい 宝ですよ。だれもがのぞむ宝です。

おじよーさま (声) ○○!

めしつかい はい、おじよーさま!…では。

めしつかい、去っていく。

怪盗Z だれもがのぞむお宝か…。

怪盗Z、去っていく。

2チームに分かれて上演する場合、ここから後半のチームに交代します。

一方で、探偵団の事務所では…。

秘密結社たち

みんな！

探偵団、警備隊、秘密結社たち、出てくる。

秘密結社

わかったぞ！伝説の秘宝の場所が！

秘密結社

このトラブル学園、最後の秘境と言われるトラブル山…。

秘密結社

その山頂にある洞窟の中だ！

みんな

トラブル山！？

警備隊

それってあの、一度足を踏み入れたら、二度と出られないと評判の…。

みんな

あのトラブル山！？

みんなは不安そうに顔を見合わせる。

探偵団

どうする、団長？

団長

どうするもなにも、やるしかないでしょ。伝説の秘宝を守って、おじよー

さまを救い出す！

秘密結社A

よーし、それじゃあ行くぞ！

みんな

おーっ！

音楽の中、トラブル山を進んで行くみんな。

（危険な山の中を進んで行く、いろんな動きを考えてみてください）

そのうちに、いつの間にか、おじよーさまと怪盗たちともいっしょになる。

（驚いたり、ケンカしてみたりしてもいいと思います）

やがて、宝のある洞窟が見えてくる。

警備隊

あ、洞窟だ！せーの…。

みんな

ゴール！

洞窟にたどり着き、思わずいっしょに喜ぶみんな。

おじよーさま

それでは、無事に洞窟までたどり着いた皆さんに、

おじよーさま

伝説の秘宝をお見せしたいと思います。

みんな

（歓声）

おじよーさま

これでーす！

おじよーさま、洞窟の奥からお宝を持ってくる。

それは、1羽の折り紙の鶴である。

みんな
秘密結社

えーっ！？
これがお宝なの？

おじよーさまは、ふと遠い目をして、

おじよーさま

そう、あれは…十年まえの冬だったわ。

めしつかい、カンペに「これより回想シーン」と書いてみんなに見せる。

おじよーさま

その頃、とても病弱だった私たちは、お医者様からもうこの冬は越せない
だろうと言われていたの。

おじよーさま

そんなある日、お母様が私にこの魔法のツルを持ってきてくれたの。

おじよーさま

そう、私と同じく病弱だったお母様…。そんなお母様が「これを持ってい
れば、あなたはきっと元気に生きていけるわ」そう言ってこの魔法のツル
を…、

おじよーさま

ああっ、でもそれからすぐ、お母様は…。

めしつかい、カンペに「もらい泣き」と書いてみんなに見せる。

みんな、泣き崩れる。

おじよーさま

でもこの魔法のツルのおかげで、私は元気になり、こんなにもパーフェク
トなおじよーさまに育つことができたのです。

めしつかい、カンペに「拍手」と書いてみんなに見せる。

みんな、拍手する。

おじよーさま

そして私は決心したのです。この奇跡をみんなに広めようと。

おじよーさま

そして私はこの魔法のツルを、私の気に入った人に、1つ、また1つとあ
げていったわ。

怪盗

その数が…999人？

おじよーさま

そういうこと。

めしつかい、カンペに「回想シーン終わり」と書いてみんなに見せる。

おじよーさま

そしてこれが最後の一羽です。いよいよこれを、今回の戦いの勝者に差
し上げたいと思います！

みんな

やったーっ！

おじよーさま

さあ、それでは、ワクワクの戦いのスタート…！

怪盗Z

ちよっと待って！

みんな、ビックリして怪盗Zを見る。

怪盗Z ダメだよ。それは…ダメ。

秘密結社 なんてだよ。

怪盗Z だってそれってつまり…千羽鶴でしょ？

みんな え？

怪盗Z これまで999人にあげてきたんだもの。これは伝説の宝でも、魔法のツルなんかでもない。病気のお母さんから、〇〇ちゃんへの想いをこめた贈り物なのよ。

おじよーさま でも私たち、このツルがあったから、こんなにパーフェクトなおじよーさまになれたのよ。

怪盗Z それだけ、お母さんの思いが強かったのよ。だから、奇跡も起きた。でもそれは、簡単に人にあげていいものじゃない。そうでしょ？

みんな ……。

おじよーさま 何言ってるのよ。私がいいって言ってるんだから、いいの。はい、どうぞ。

おじよーさま、ツルをさしですが、秘密結社の三人はもらおうとしない。

おじよーさま え、どうしたの？ いらなの？ ほら！…ほら！

他のだれに差し出しても、だれも受け取ろうとしない。

おじよーさま しんじらんない！ しんじらんない！

怪盗Z 〇〇ちゃん。

おじよーさま いいよーだ。いらないうら。もう絶対あげないから。後から欲しいって言っても、絶対あげないんだからね。

みんな 〇〇ちゃん！

おじよーさま しらない！

めしつかい それでしたら、その宝…わたしめがいただきますしよ。

みんな え？

めしつかい、ツルを奪い取る。

おじよーさま ちょっと、なにすんのよ！

めしつかい 私はずっとこの時を待っておりました。伝説の秘宝を手にも、わたしはパーフェクトな男になるのです！

おじよーさま そんなこと…

おじよーさまたち ゆるさないわよ♪

おじよーさま、素敵なお顔をみせる。

しかし、いつものような不思議な力は出てこない。

おじよーさま あれ？なんでも言うこと聞いてくれないの？

めしつかい 今まであなたがパーフェクトでいられたのは、この宝のおかげ。それをなくした今、あなたは…そう、ただの女の子！

おじよーさまたち ガーン！

おじよーさま、ショックでぶったおれる。

みんな いい加減にしろさい！

みんなは召使いに向かっていくが…

めしつかい だまれ！

めしつかいは、すごい力でみんなをぶっとばす。

めしつかい ハーッハッハッハッ！このパーフェクトな力で、私はセレブの仲間入りをするのだ！ハーッハッハッハッ！

探偵団たち いいかげんにしろさい！

探偵団たち、めしつかいを指差して、

探偵団 なにがパーフェクトな力よ。ふざけるんじゃないわ！

探偵団 そのツルがいったいどれほど大切なものか…あなたが一番よくわかってるはずじゃない。

団長 それを踏みにじるようなマネを、私たちは絶対許さない！

探偵団 あんたたち！

探偵団たち やっっちゃいなさい！

秘密結社たち よっしゃー！

秘密結社たち、めしつかいと戦う。

警備員 私たちも行くわよ！

警備員たちも加勢する。

探偵団 怪盗3面相！

怪盗たち 任せといて！

団長 いいじゃないの！

おじよーさま

え…。

探偵団 魔法の力なんてなかったっていいの。

警備隊 なんか困ったことあったら助けてあげるし、

秘密結社 できないことがあったら手伝ってやるよ。

怪盗 それでいいじゃない？

おじよーさまは、みんなを見回して、うれしそうにうなずく。

おじよーさま

うん！ありがとう！

みんなも、顔を見合わせて笑いあう。

団長

さあ、帰りましょう！ あたらしい一日の、

みんな

はじまりだ！

おしまい